

写真家 菊池和子のスライド&トーク

震災を生きる人々

福島芸能の灯消さず

福島の太平洋沿岸(浜通り)は、民俗芸能の宝庫だった。2011.3.11の津波は多くの人々の命を奪い、福島第一原発の事故は地域を崩壊させた。そんな中で、萎えそうな人々の心を芸能がかろうじてささえている。故郷の芸能復活を通して「生きる力を得ていく人々の記録」をぜひご覧ください。

日時 2020年 **2月15日(土)**
午後2時~4時

講師 **菊池和子**さん(写真家)

会場 住吉会館ルピナス 2階研修室

定員 50名 (先着順。直接会場にお越しください)

保育 あり (要予約。裏面をご覧ください)

参加費 無料

問合せ 渡辺 (042-467-2089)

菊池和子さんプロフィール

1945 中国石門市(現・河北省石家荘)生まれ
1968 東京学芸大学卒・東京都公立小学校教諭となる
1994 現代写真研究所入所
2000 東京都公立小学校教諭退職
2002~2008 ポルトガル・リスボン在住
2008 帰国
2012~2015 現代写真研究所にて講師



写真集「しんちゃん」(草土文化)
「チマ・チョゴリの詩が聞こえる」(小学館)
「命の限り」(現研出版)
「PORTUGAL」(現研出版)
「フクシマ漂流」「フクシマ無念」(遊行社)

「この大地奪われし人々」(遊行社)
「福島・芸能の灯消さず」(遊行社)
…トーク内容に該当…